

杏林大学医学部 英語

2023年 1月20日実施

【Ⅰ】

- (ア) ① (イ) ② (ウ) ② (エ) ④ (オ) ②
(カ) ④ (キ) ③ (ク) ④ (ケ) ③ (コ) ①

<講評>

文法・語法に関する4択問題。ほとんどが典型的な基本問題。(ケ)は、otherwiseの「そうでなければ」以外の意味をきちんと知っていたかどうかで得点の分かれ道。

【Ⅱ】

- A ①-③ (⑤①④③②)
B ④-① (②④⑤①③)
C ①-④ (②①⑤④③)
D ②-④ (⑤②①④③)
E ②-③ (④②①③⑤)

<講評>

語句整序問題。Dは <A is to B what C is to D> を問うたものであることに気づけなかった受験生も多いのではないかと。他は極めて基本レベルであり、落としてはならない。

【Ⅲ】

- A ②-① (④②③①⑤)
B ③-② (⑤③①②④)
C ②-③ (④②⑤③①)
D ②-④ (⑤②③④①)
E ①-⑤ (④①③⑤②)

<講評>

2020年度から連続して出題されている文整序問題。A, B, Dは易問であり、確実に得点したい。CとEはやや注意深い読解が必要。特にCは、③のitが何を指しているのかが分かりづらく、確信を持って解答することが難しかったであろう。

【Ⅳ】

(英文1)

- (ア) ② (イ) ③ (ウ) ② (エ) ① (オ) ④

<講評>

「なぜホテルのミニバー(客室内で飲料を提供している冷蔵庫)は高価格設定なのか」に関する英文。そもそもミニバーの意味が分からず苦戦した受験生もいるかもしれないが、本文そのものは平易で読みやすく、問いも素直である。4問以上は正解したい。

【IV】

(英文 2)

(カ) ③ (キ) ④ (ク) ③ (ケ) ③ (コ) ③

<講評>

「COVID-19 ワクチンによる心筋炎リスクの有無」に関する英文。(カ)は接続詞 **as** の用法を選択させる問いであるが、③と④で迷う。選択肢の意図としては、①理由、②様態、③時、④譲歩のうちから選ばせたいのであろう。受験レベルの正攻法で考えるなら、譲歩の **as** は原則として **C+as+S+V** の語順で使用されるはずで、ここでは除外ということになるが、文脈を考慮に入れば **although** との言い換えは十分に成立する。他の問題の難易度からして、そこまでの深読みは要求されていないと推測し③を正答としたが、④を誤りとする積極的な根拠も挙げられない。

それ以外の問いは平易であり、全体で3問以上は正解したい。

【総評】

大問構成・出題形式ともに昨年度と同一であった。文章量も依然として控えめで、ここ数年の易化傾向をキープした形となった。今年度の英文 2 はやや専門的内容であったものの、日頃から医学長文に触れている YMS 生にとっては読みやすかったであろう。60分という解答時間に比しても十分に余裕のある試験であることから、高得点域での戦いとなることが予想される。一次通過には 75%程度の得点が望まれる。

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校

YMS

☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木1-37-14

医学部進学予備校

メビオ

☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ 福岡校

☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE 登録

